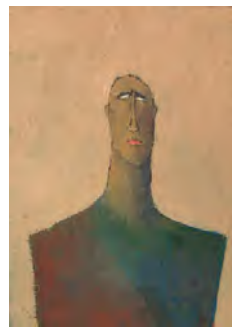


東京黒百合会  
第16回

# 北 道 展



## 16回をむかえて

8名が出品、13日のオープニングパーティーはメンバー・友人多数が参加、大いに盛り上がった。

16回を重ね、年齢・しがらみ他を積み重ねてきた各人だが、会は年々学生の頃に近づいていくようだ。行けば誰かがかならず居て、飲んだり、語っちゃっていたりした部室。

時間と元気のある皆さん、来年はぜひ初日、夕刻お待ちしております。

江澤昌江



2000年6月13日（火）～18日（日）  
AM11:00～PM6:00（最終日5:00）

三興画廊

TEL03-3276-0789

長岡 英子

文章ならば起承転結、音楽だったらソナタ形式、オリンピックは4年ごと、4  
というのは一つの事を成すのに調度よい数なのではないでしょうか。私の北旭展への参加も今回で4回となり  
ました。ふじ色を使ってみたいのとイメージで矢車草を描き始め、3作まで仕上げましたが、4  
作目まで筆を進めたら、また新しい展開が見えたかとも思います。



パンとオレンジ 油彩 F 20



芍薬 油彩 F 20



矢車草 油彩 F 20

西村 幸二

木彫家のなかには彫るのではなく木の中から象が立ち現れてくるとか、門外漢には解らぬこと  
を言うノモいるそうですが、平面絵画ではどうか。ドリッピングなどは近いかもしれませんが、な  
どと理屈めいたことより色彩をより少なくして気配を顕せるかの試みを続けています。



さかしま 油彩 F 10



壱2 油彩 F 10

山田哲男

画面に2人以上の人物が登場すると、そこに一つの社会が発生し人間の持つ様々な感情が現れま  
す。その中で自分自身が驚くような発見をする事があります。



せつない恋 油彩 F 20



3人 油彩 F 20

江澤昌江

風景なのですが、私が本当に面白いと思い、描きたかったのは、海・雲・霧・雨などの”水”なんです。



ハーブ 水彩



外房1 水彩



外房2 水彩

後藤 一雄

今回のテーマは「時そして変化」、時の移り変わりを改めて実感し表現した。壊されていく古きものと生まれてくる新しいもの、取り壊されるビル、レインボーブリッジ、日比谷公園に集まった若者などに被さるように電波の波をビジュアル化してみた。これから益々この電波の密度が濃くなる。しかも情報という価値を運んで。人間の目で見えるなら新たな生命体に写るかもしれない。



1999 デジタルアート F 30



2000 デジタルアート F 30



2001 デジタルアート F 30

細井 真澄

空っぽの頭の中からイメージを絞り出す苦しみ。そして生み出せた時の、何とも言えない喜び、その悪戦苦闘の味が忘れられず、またこんな絵を描いてしまいました。



何考えてんの? 油彩 F 20



何やってんの? 油彩 F 20



晴れた日の富士 油彩 6号

佐々木 繁

今回、鎌倉、江ノ島の風景のすばらしさを描こうと試みましたが、感動が筆からキャンパスに伝わったかどうか.....。



花咲くお寺 油彩 6号



江ノ島のにぎわい 油彩 6号



蓮華の咲く池 油彩 6号



赤い橋 水彩 F 20



秋のはじまり 水彩 F 20



春の予感 水彩 F 20



水之音 水彩 F 10



鵜原青春 水彩 F 20

杉山 直

桜に挑戦して2年目、今年は桜をバックに春の”予感”を芽吹きにたくした。また、第二の郷土千葉県自選風景100選の養老溪谷と鵜原風景”動と静”。